

田野畑村地域公共交通活性化協議会

平成20年6月2日設置
平成21年3月12日連携計画策定



概要

田野畑村の公共交通のあり方としては、廃止代替バスとして運行してきた村民バスを見直し、公共交通を必要とする人の希望に応えたきめ細やかな公共交通とすることを目的とし、4つの運行方法を組み合わせた新しい公共交通の構築を図る。今年度は、うち3つの試験運行および車両購入等環境整備を実施する。

○協働バスの試験運行

村内および近隣市町村の高校への通学を支援するために、保護者などを中心に運営協議会を組織して、通学ニーズに対応したバス(タクシー)の試験運行に取り組み、バスの運営体制および村や学校との役割分担を明らかにし、本格運行の実現を目指す。

○たのはた総合バス(スクールバス兼)の導入環境整備

平成22年4月に村内の小学校6校の統合に向けて、現在の村民バスとスクールバスを統合しただれもが利用できる路線バスにすることで、小中学生の通学を支えるとともに、広く村民が利用できるバスを実現する。今年度は、車両の購入や親しみやすいデザインの検討、愛称の募集などを行う。

○予約運行交通(デマンド型乗合タクシー)の試験運行

現在の村民バスに代わり、高齢者が通院や買い物に利用しやすいように戸口から戸口まで送迎する予約運行型の乗合タクシーの実現を目指し、試験運行を行う。

○観光交通の試験運行

村内には東北有数の観光地である北山崎などがあり、体験観光などに力を入れている。現在は村民バスが駅と観光地を結んでいるが利用者が少ないため、タクシーの活用を図る試験運行を行う。

また、来年の観光シーズンに向けて、村内の体験観光や宿泊施設等観光事業者と連携した提案型観光周遊バスの企画や広報に取り組む。

たのはた総合バスの導入



観光交通の試験運行



協働バスの試験運行



予約運行交通の試験運行



岩泉高校(岩泉町)

田野畑総合バスのルート案